

アフターサービスのご案内

保証書

- ※P.15が保証書になっています。
- 保証書の内容に従って保証されています。お引き渡し日・販売店・取付店が記入、押印してあることをご確認ください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。
- ※無料修理により交換された交換前の部品・商品はTOTO(株)の所有となります。
- 修理すれば使用できる商品についてはご希望により有料で修理させていただきます。
- 保証の対象は、別冊「保証の対象となる品番」に記載の品番の商品です。

補修用性能部品の供給期間

- 補修用性能部品(注1)の供給期間は製造中止後10年です。
- (注1)パッキンなどの機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取替える必要が発生する可能性の大きいもの
- ※水栓金具・電気温水器など 専用説明書を参照ください。
- ※扉・引き出しの面材については、製造中止後、2年の供給期間としております。供給期間経過後は、新シリーズの扉にて供給させていただきますので、ご了承ください。
- ※商品のモデルチェンジなどにより、予告なく商品を製造中止とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼について

- 各商品に付属されている「取扱説明書」をもう一度ご確認ください。ご相談の際は、次のことをご連絡ください。

- ① ご住所・ご氏名・お電話番号
- ② 品番(別冊「品番の確認のしかた」参照)
- ③ お引き渡し日
- ④ 故障の内容(できるだけ詳しく)
- ⑤ 訪問ご希望日

修理料金のしくみ

(TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合)

- 修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理をさせていただきます。
- 標準修理料金は **技術料** + **部品代** + **訪問料** で構成されています。
- ※ただし、補修部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。
- ※機器類など専用の保証書があるものについては、料金体系が異なります。

お客様から預かりした個人情報、関連法令および社内規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。詳細はTOTOホームページをご覧ください。

TOTO株式会社

TOTOホームページ <http://www.toto.co.jp/>

修理を依頼する前に「修理を依頼される前に」(P.14)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店 〒

電話 —

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口

商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ



TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理のご用命は

安心・信頼の TOTOメンテナンス(株)
修理受付センターへ



ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休
受付時間：8:00～19:00
訪問修理：年中無休(一部地域を除く)
営業時間：9:00～18:00

交換部品・別売品のご購入は

TOTOメンテナンス(株)
TOTOパーツセンターへ



TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00
土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

※インターネットでの部品購入は
TOTOWebショップへ(24時間受付)
<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>

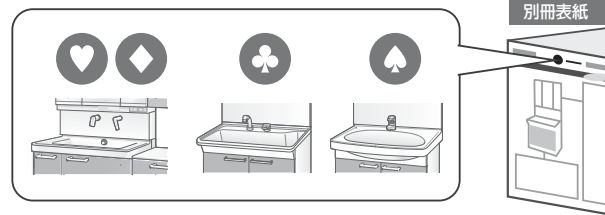
TOTO

洗面化粧台・化粧鏡・ 収納キャビネット



このたびは、TOTO商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 本書は、洗面化粧台の総合取扱説明書です。ご購入いただいた仕様以外の内容も含まれておりますので、あらかじめご了承ください。
- 本書では、洗面化粧台の商品別に便宜的なマーク(♥♦♣♠)を付けて分類しています。お買い上げの商品に対応するマークは、別冊の表紙でご確認ください。



- 保証書に取付店名、お引き渡し日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- この取扱説明書は、取扱説明書別冊(2つ折り)と一緒に大切に保管し、必要なお読みください。
- 水栓金具・電気温水器に関する内容は、専用の説明書にのせていますので、この説明書と併せてよくお読みください。

取扱説明書 保証書付

もくじ

安全上のご注意	2	はじめに
使用上のご注意	4	
使いかた	6	使いかた
お手入れ	8	お手入れ
こんなときは	10	必要とき
定期的な点検	12	
凍結予防	13	
修理を依頼される前に	14	
保証書	15	
アフターサービスのご案内	裏表紙	

別冊もくじ

取扱説明書本体と併せてよくお読みください。

各部のなまえ
仕様
品番の確認のしかた
保証の対象となる品番
蛍光灯の交換
部品の交換・買い換えのご案内

お買い上げの商品は

マーク	シリーズ名
-----	-------

●別冊の表紙でご確認ください。

安全上のご注意







安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

表示と意味	 警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。	 注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。	 してはけない「禁止」の内容です。	 必ず実行していただく「強制」の内容です。「必ず守る」を示しています。
-------	---	---	--	--



警告

火災・感電・漏電を防ぐために

電源コード・電源プラグなどは


-  ■照明スイッチ・蛍光灯・コンセントは、水をかけたり、ぬれた手で触れない
-  ■電気器具は、分解・修理・改造しない
-  ■コンセント・配線器具の定格(計 1200W)を超える使いかたはしない
・たこ足配線など。
-  ■コンセントは、差し込み口にチリ・ホコリが付いたまま使わない
・乾いた布でふき、確実に差し込んでください。
- がたついているコンセントは使わない
- コンセントに他機器の電源プラグを差したまま、放置しない
- 雷が発生しているときは、電源プラグ・コンセントに触れない
- 電源コードを傷つけるようなことはしない
・無理に曲げる・重い物をのせる・挟み込むなど。
- 電源コードは、束ねたまま使わない
- AC100V 以外の電源は使わない
-  ■電源コード・電源プラグのお手入れ時は、照明スイッチを切り、電源プラグを抜く
・電源プラグを抜くのが困難な場合は、プレーカーを切ってください。
-  ■電源プラグは、プラグ本体を持って真っすぐ抜き差しする
・電源プラグ・コンセント・電源コードが傷みます。
- 電源プラグは、刃などのホコリを定期的に取り、根元まで差し込む
・プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

蛍光灯・照明カバーは

-  ■蛍光灯・照明カバーにタオルなどをかけない
- 蛍光灯は、指定の物以外に交換しない
(別冊「蛍光灯の交換」参照)
-  ■蛍光灯の交換時・蛍光灯取り付け部のお手入れ時は、照明スイッチを切る
- 蛍光灯の周波数切り替えスイッチは、使用地域の周波数に合わせる(50/60Hz 切替式のみ)





棚などは

-  ■火のついたタバコなどを置かない

注意


水漏れ・けが・やけどなどを防ぐために

キャビネットやキャビネット内は


-  ■排水・給水器具に、無理な力を加えない
- 止水栓は、必要以上に開けない
(洗面ボウルからの水はね・水あふれの原因)
-  ■定期的に点検する(P.12)
・ねじのゆるみがないか、キャビネット・着脱底板の下などに水漏れ・がたつきがないか。



洗面ボウル・カウンターは

-  ■かたい物を落とさない
(破損によるけが・水漏れのおそれ)
・収納物の取り出し時は、特にご注意ください。
- ヒビが入ったまま使わない



寒冷地仕様の場合は

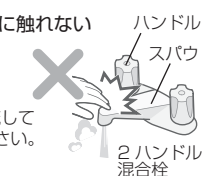
-  ■凍結が予想されるときは、排水トラップ・水栓金具の水抜きを行う(P.13)
(破損による水漏れの原因)

注意



水漏れ・けが・やけどなどを防ぐために

2ハンドル混合栓は

-  ■給湯側は、ハンドル以外に触れない
・常に高温になっています。
- 熱湯使用時は、水栓のスパウトに触れない
・使用後は、しばらく水を流してスパウトを冷ましてください。
-  ■湯を使う前に、しばらく流して湯温を確かめる
・温度調節をするときは、水側のハンドルから回してください。
- 湯を止めるときは、湯側のハンドルから閉める
・次回使用時に、高温の湯が出ることがあります。




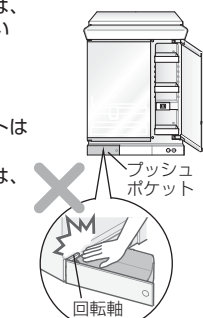
蛍光灯・LED 照明は

-  ■蛍光灯取り付け部の鋼板端部に触れない
- 点灯中・消灯直後は、蛍光灯に触れない
- ワイド LED 照明の照明カバーは、外さない
-  ■蛍光灯の照明カバーは、確実に取り付ける
(落下による破損・けがのおそれ)





扉などを開け閉めするときは


-  ■鏡扉・扉を閉めるときは、丁番付近に指を入れない
- プッシュポケットを閉めるときは、回転軸付近に指を入れない
- 鏡扉・プッシュポケットは開けたままにしない
- 引き出しを動かすときは、バーを持たない




扉・引き出しのずれ調整時は(P.10・11)

-  ■電動ドライバーは使わない
・ねじが破損すると、扉などが落下します。
-  ■落とさないように注意する
- 調整後、ゆるめたねじは全て締める

長期間使わないときは

-  ■電源プラグを抜く
(思わぬ事故の原因)
・抜くのが困難な場合は、プレーカーを切ってください。

その他、お使いのときは

-  ■無理な力を加えない
・鏡・鏡のフレーム・カウンター・洗面ボウル・扉・引き出し・棚・取っ手などに、のる・ぶら下がる・物を掛けるなど。
- 化粧鏡の上面に物をのせない
・照明カバーが外れます。
- 取っ手や丁番にがたつきがあるまま、使わない
(落下による破損・けがのおそれ)
- 丁番に注油しない
(油・溶剤が樹脂に付くと、本体・鏡止め具が割れて鏡が落下し、破損・けがのおそれ)
- 棚ダボは正しく押し込み、棚には大量の書類など重い物をのせない
・棚が外れます。
-  ■収納トレイ・引き出し・プッシュポケットを外したときは、確実に取り付ける
・軽く引っ張って確認する。
・引き出しは、2、3回開閉して確認する。
- 高齢の方や小さなお子さまが使うときは、付き添う
(転落・転倒・けがのおそれ)



使用上のご注意

破損などを防ぐために

- 化粧品が付いたら、すぐにふく
(変色・破損の原因)

化粧鏡は

- 鏡に冷水・熱湯をかけない
(漏電・鏡の破損の原因)
- 水滴が付いたら、使用後に軽くふく
(腐食の原因)
- 洗面化粧台と化粧鏡の接続部に、水をかけない(水漏れの原因)
- 破損したまま使わない
(衝撃・温度の急変などにより、ワレが広がる原因)
- かたい物をつづけない
- 化粧棚にかたい物を置いて引きずったり、かたい物を落とさない
(傷による腐食の原因)



- スウィング三面鏡の袖鏡を開けるときは、完全に閉まった状態から開ける
・袖鏡が中央鏡に当たります。

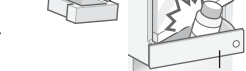


- 鏡の動く範囲に、タオル掛けなどを取り付けけない

- 最下段の収納トレイを外したまま、使わない
(本体に化粧品が付くと、破損・変色の原因)



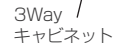
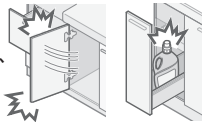
- プッシュポケットには、プッシュポケットの高さ以上の物を入れない



- 落雷の可能性あるときは、電源プラグを抜いておく
・抜くのが困難な場合は、ブレーカーを切ってください。

洗面化粧台は

- 引き出し・扉を開けるときは、隣接する扉などを開けてから開ける
・扉などにぶつかります。
- 内引き出し付きの引き出しには、内引き出しに当たる高さの物を入れない
- 3Wayキャビネットには、トレイに当たる高さの物を入れたり、トレイの中にトレイの高さ以上の物を入れたりしない
- 冷たい洗面ボウルに、急に熱湯を注がない
・水を少しためてから注いでください。



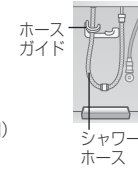
- 排水栓に重い物をのせない(故障の原因)

- タオルバー(オプション)・ストックポケットにぶら下がらない



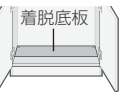
変形・変色などを防ぐために

- ストーブなどを近づけない
- ヘアドライヤーの熱風を直接あてない
- 金属製品を放置しない
・ヘアピン・かみそりの刃など。
(さびが取れなくなる原因)
- カウンター・洗面ボウルのデッキ面に、ぬれた物・ビニールシートなどを長時間放置しない
(表面の膨れ・変色の原因)
- カウンター・洗面ボウルに、火のついたタバコを置かない
- シャワーホースは、凍結予防時以外、ホースガイドから外さない
(水がこぼれると、表面のはがれ・変形の原因)
- 化粧鏡本体に吸盤を貼らない
- 簾かごは、直射日光・ストーブ等の熱や湿気を避ける
・ぬれた物はいれしないでください。



収納するときは

- ヘアドライヤー・ヘアアイロンは、熱いまま入れない
- 重い物は、分散して入れる
(着脱底板の反り、引き出しが閉まりにくくなる原因)
- 最大積載荷重以上の物を入れない
(別冊「各部のなまえ」参照)



薬品・洗剤類は

- 以下の洗剤・道具などは使わない
 - ・ナイロン・金属たわし
 - ・メラミンスポンジ
 - ・溶剤(シンナー・ベンジン・除光液・接着剤など)
 - ・クレンザー(粉末や研磨力の強いもの)
 - ・トイレ・タイル用の洗剤
 - ・塩素系・酸素系・酸性・アルカリ性の洗剤・漂白剤(排水管洗浄剤を除く)
 (破損・水漏れ・変色・さびの原因)
- 塩素系の薬品・洗剤類を入れるときは、キャップを開める
(塩素ガス発生による、丁香・レールのさび、動作不良の原因)
・こぼれたら、すぐにふいてください。
- 強い薬品がこぼれたら、すぐに水ぶきをし、ふき取る
・毛染め剤・養毛剤・パーマ液・うがい薬など。
- 鎖等の金属部には、塩素系・酸性・アルカリ性洗剤を使わない
・カビ取り用洗浄液・ヌメリ取り洗剤など。

こんな場合は

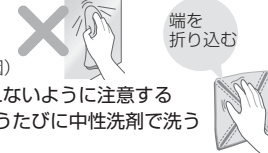
- キャビネット・キャビネットの下に水がかかったら、すぐにふく
(表面のはがれ・変形の原因)
- 直射日光が当たる場合は、カーテンなどで遮る



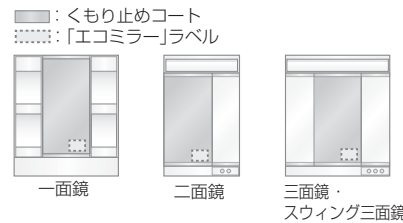
エコミラーのくもり止め効果を保つために

汚れやコーティングの傷・はがれなどによるくもり止め効果の低下を防ぐために、次のことをお守りください。

- お手入れは、週1程度行う(P.8)
- P.9記載の「使えない洗剤・道具など」は使わない
- 洗剤は原液で使わない
(跡残りの原因)
- 指先で強くこすったり、からぶきしない(傷の原因)
- 布の端や洗濯タグが触れないように注意する
- お手入れに使う布は、使うたびに中性洗剤で洗う
(汚れによる傷の原因)
- 毛染め剤・洗顔料・化粧品・うがい薬・歯磨き粉などが付いたら、すぐにお手入れする(P.9)
(変色・付着跡・傷の原因)
- くもり止めは塗らない
- テープ・シール・吸盤・ジェル状の飾りなどは貼らない
(跡残り・くもり止め効果の低下の原因)
- 鏡のラベルははがさない
(跡残りの原因)
- お風呂上がりなどに、浴室のドアを開けたままにしない
・蒸気などが急激に付き、一時的にくもりが発生します。

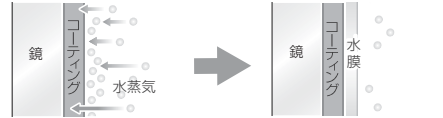


エコミラーについて

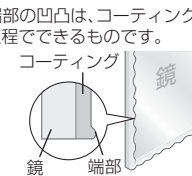


エコミラーには、くもりにくくするため表面に柔らかいコーティングをしています

- 初期吸水コーティングに水蒸気を吸収し、くもりにくくします。
- 吸水+水膜形成満水になると水膜ができ、くもりにくくします。



- 傷や変色も起きても補修できません。
(有料の部品交換となります)
- 色合い・見えかたが、他の鏡とは若干異なって見えることがあります。
(異常ではありません)



より快適にお使いいただくために

- 新築・改築後間もない場合は、十分に換気する
・ホルムアルデヒドには、高温になると放散される性質があるため、室温を高くしての換気・キャビネット内の水ぶきが効果的です。
- 普段から通気・換気に配慮する
・特に、気温の高い夏や長時間密閉状態にしていたあとなどは、十分に換気してください。

ホルムアルデヒドについて

TOTOでは、お客様が安心してお使いいただけるように「ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を採用」しています。

次のことにもご注意ください

- ラジオなどの電波受信機器は、蛍光灯(インバーター式)の近くで使わない
(雑音の原因)
- 洗面ボウルに水をためるときは、ぬるま湯を使うと結露が防げます
・冷水では、環境条件・時間により結露することがあります。

使いかた

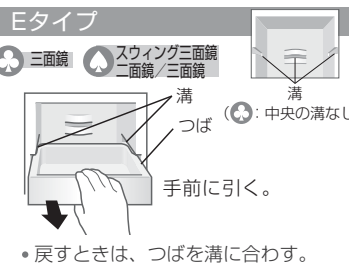
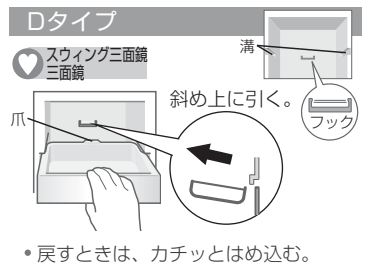
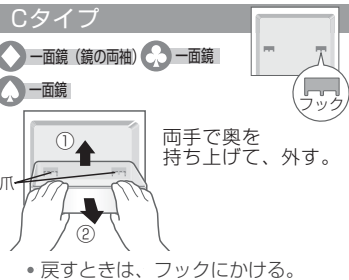
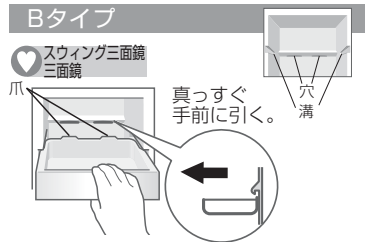
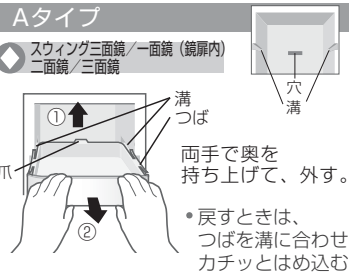
- シリーズ・タイプ・オプションの選択などにより、構成部品の種類や位置は異なります。別冊「各部のなまえ」「仕様」をご確認ください。
- 水栓金具・電気温水器については、専用説明書を参照してください。

- 別冊「各部のなまえ」「仕様」をご確認ください。お買い上げの商品のマークは、別冊の表紙をご確認ください。

収納トレイ

取り外して、取り付け位置を変えられます。

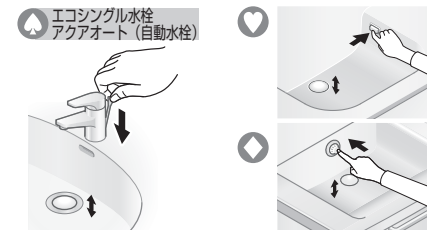
- 取り外しかた・取り付けかたは、取り付け部の形状によって異なります。
- 取り付けるときは、取り外しと逆の要領で行ってください。



排水栓

ワンプッシュタイプ

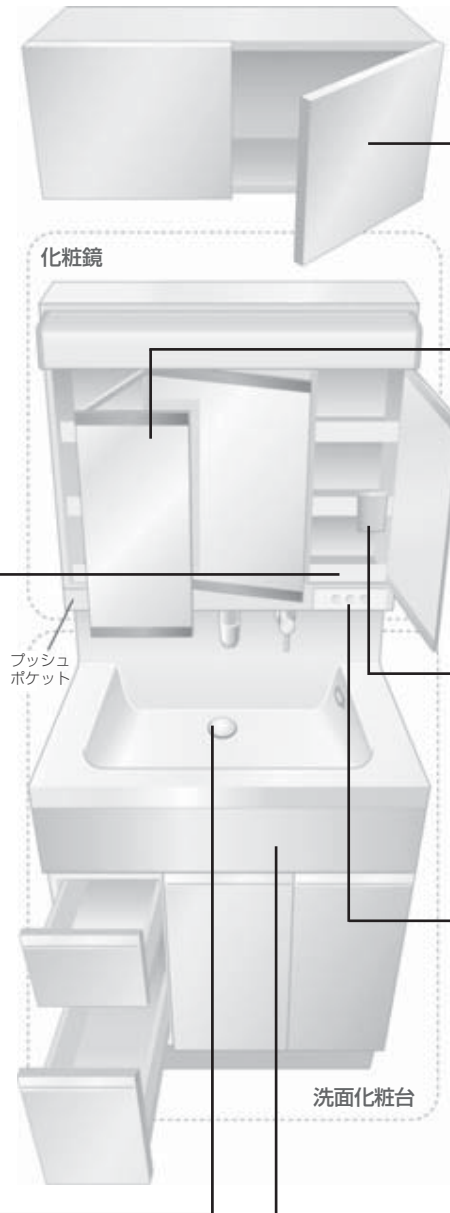
ボタンを押すたびに、排水栓が開閉します。



オーバーフロー穴収納タイプ



化粧鏡



収納キャビネット (取っ手のない扉)

押すと開くタイプの扉です。

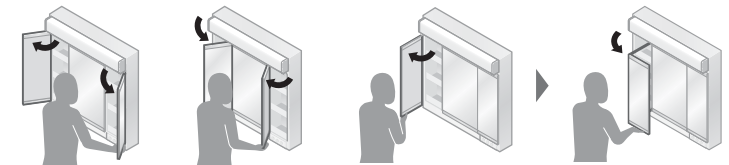


- 押す位置は、キャビネットによって異なります。(別冊「各部のなまえ」参照)

スウィング三面鏡

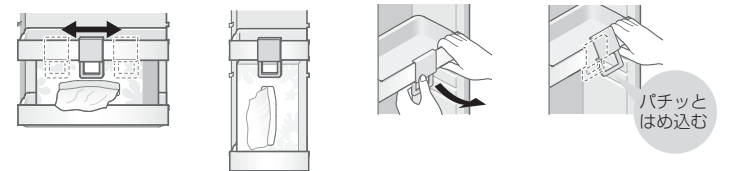
内側にも外側にも開きます。

- 収納物の出し入れに
- 合わせ鏡に
- お手元鏡に

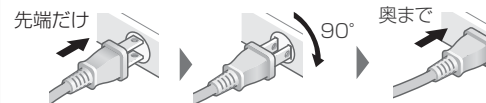


ティッシュ用ストッパー

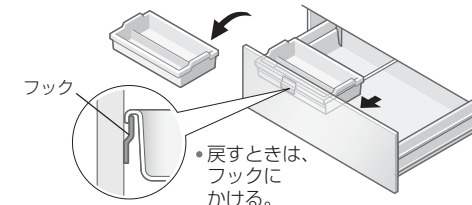
お好みの位置に移動したり、付け替えられます。



回転式コンセント

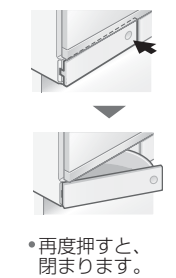


小物トレイ



プッシュポケット

丸いくぼみ付近を押すと、開きます。

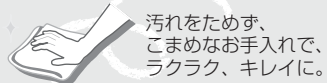


お手入れ

- シリーズ・タイプ・オプションの選択などにより、構成部品の種類や位置は異なります。別冊「各部のなまえ」「仕様」をご確認ください。
- 水栓金具・電気温水器については、専用説明書を参照してください。

日頃のお手入れポイント

水ぶきし、からぶき仕上げを



汚れをためず、こまめなお手入れで、ラクラク、キレイに。

おすすめの道具

スポンジ 柔らかい布 ゴム手袋



布を巻いた割り箸 使い古しの歯ブラシ



おすすめの洗剤

浴室/台所用 中性洗剤



蛇口まわりのクリーナー (別売品)

TOTO商品 THYZ3* 希望小売価格：1,100円*(税抜) (お買い求めは裏表紙へ)

*予告なく変更する場合があります。

×使えない洗剤・道具など

- ナイロン・金属たわし
- メラミンスポンジ
- ネット付きスポンジ
- 溶剤(シンナー・ベンジン・除光液・接着剤など)
- クレンザー(粉末や研磨力の強いもの)
- トイレ・タイル用の洗剤
- 塩素系・酸素系・酸性・アルカリ性の洗剤・漂白剤(排水管洗浄剤を除く)

キャビネット・化粧棚・鏡※・化粧鏡本体・照明カバー

水ぶきする

→からぶきで仕上げる



頑固な汚れ

洗剤^{※1}を付けた布でふく

→水ぶき→からぶきで仕上げる



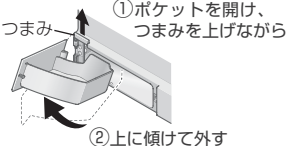
●細かい部分は、割り箸で。



プッシュポケット

取り外して水洗いできます。

●取り外しかた



●取り付けかた



洗面ボウル・カウンター

スポンジに洗剤^{※1}を付けて洗う
→よく水洗いする



頑固な汚れ

■人工大理石タイプ
エチルアルコールを付けた布でふく



■陶器タイプ
スポンジが歯ブラシに、「蛇口まわりのクリーナー」を付けて洗う



- 傷つかないか、目立たない所で試す。
- もらいざび^{※2}の場合は、お湯をかけてあたためてから洗う。

排水栓・ヘアキャッチャー・ワンプッシュ排水ボタン

取り外して汚れを取る (ごみが詰まり、流れが悪くならないように)



■ワンプッシュタイプ

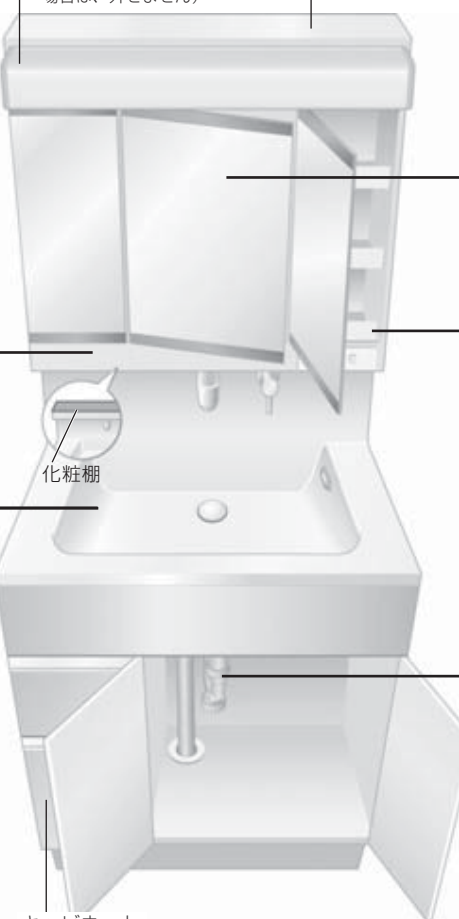
エコシングル水栓 アクアオート(自動水栓)



照明カバー

- 外しかたは、別冊「蛍光灯の交換」参照 (ワイドLED照明の場合は、外せません)

化粧鏡本体



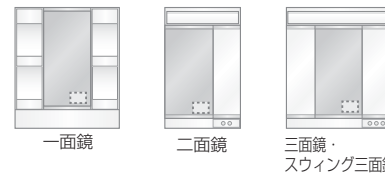
キャビネット

- 別冊「各部のなまえ」「仕様」をご確認ください。お買い上げの商品のマークは、別冊の表紙をご確認ください。

エコミラー

くもり止め効果を保つために、P.5をよくお読みください。

■：くもり止めコート
□：「エコミラー」ラベル



お手入れ用品

きれいな柔らかい布 (ハンドタオル・フェイスタオルなど) 5倍に薄めた無色透明の台所用中性洗剤 (食器用)

日常のお手入れ / 毛染め剤などが付いたらすぐ

準備した洗剤を付けた布で、軽くふく

洗剤に含まれる界面活性剤が、くもり止め効果をより長持ちさせます

●布の端や洗濯タグが触れないように注意する。

×使えない洗剤・道具など

左上の「使えない洗剤・道具など」以外に、エコミラーには、次の洗剤・道具なども使えません

かたい布・汚れた布・ウェットティッシュ・マイクロファイバークロス・TOTOラクラクカガミクリーナー(研磨剤入り)

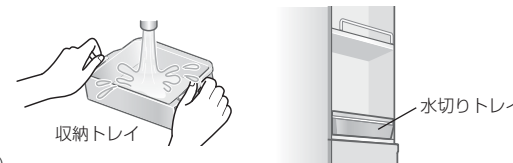
毛染め剤などが色残りしたとき (完全には取れませんが、色を薄くするために)

上記のお手入れ後、洗剤を染み込ませたティッシュを貼り、上からラップする (洗剤が垂れないように、またティッシュが乾燥しないように) →2時間放置後、水を含ませた布で軽くふく

収納トレイ 水切りトレイ

取り外して水洗いできます。

●取り外しかた (P.6・7)



排水トラップ

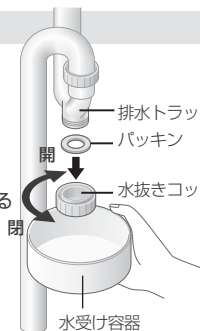
排水管洗浄剤 (詰まり予防用) を使う (詳しくは、洗浄剤の説明書参照) ●2週間に一度のお手入れをおすすめします。

水の流れが悪いとき

排水管洗浄剤 (詰まり除去用) を使う (詳しくは、洗浄剤の説明書参照) ●6か月に一度のお手入れをおすすめします。

配管が詰まったとき

- ①水受け容器を置く (たまった水 約140mlを受けるため)
- ②水抜きコックを開け、異物・ごみを取る
- ③水抜きコックを手で締める ●工具は使わない。
- ④水を流し、漏れないか確認する



こんなときは

●シリーズ・タイプ・オプションの選択などにより、構成部品の種類や位置は異なります。別冊「各部のなまえ」「仕様」をご確認ください。

●別冊「各部のなまえ」「仕様」をご確認ください。

お買い上げの商品のマークは、別冊の表紙をご確認ください。

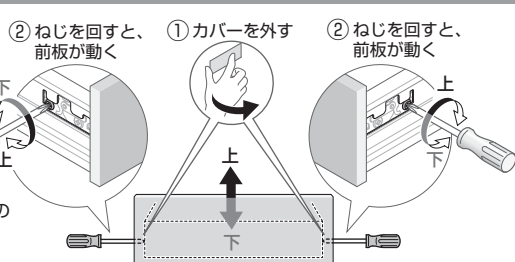


引き出しの前板がずれているとき

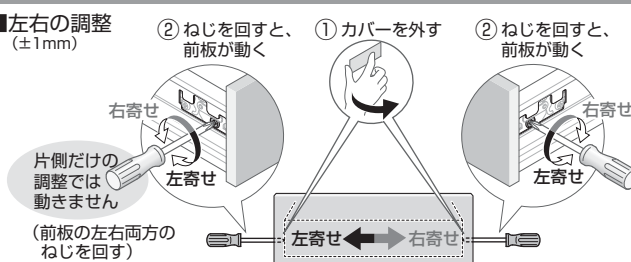
バー+カバー付きねじタイプ

- 3Wayキャビネット 2段引き出し
- 3Wayキャビネット 2段引き出し

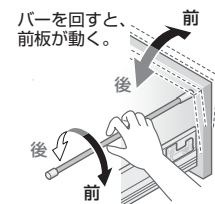
■上下の調整 (±2mm)



■左右の調整 (±1mm)



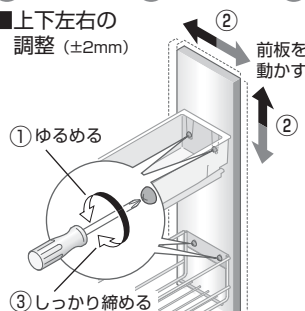
■前後の傾き調整



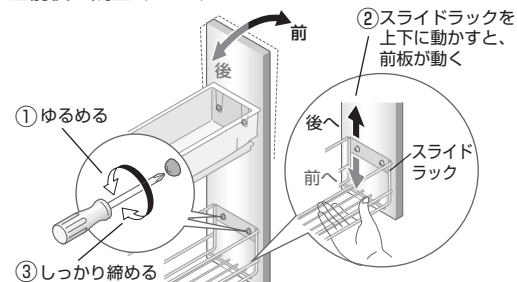
スライドラックタイプ

- 収納キャビネット
- 収納キャビネット
- スライドラック

■上下左右の調整 (±2mm)



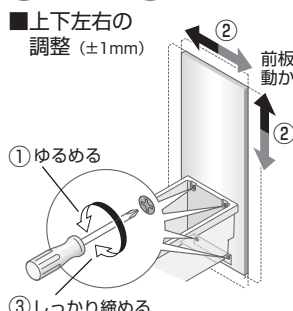
■前後の調整 (±2mm)



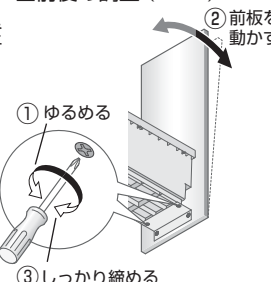
ボックス付きタイプ

- 片引き出し
- 片引き出し

■上下左右の調整 (±1mm)



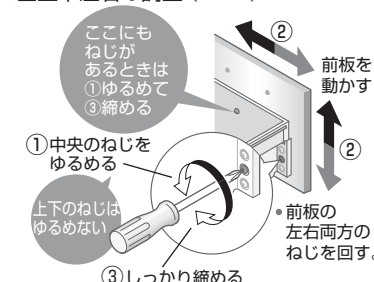
■前後の調整 (±4mm)



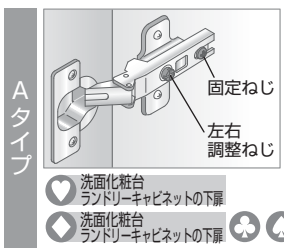
ねじが縦に3つ並ぶタイプ

- 収納キャビネット
- 収納キャビネット
- 片引き出し

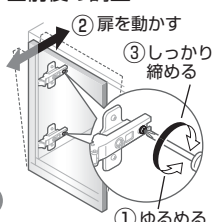
■上下左右の調整 (±2mm)



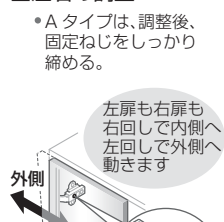
扉がずれているとき



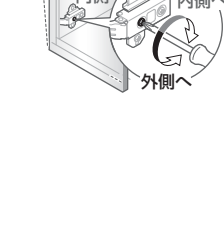
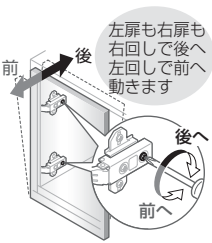
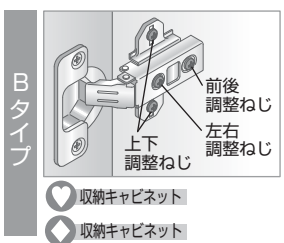
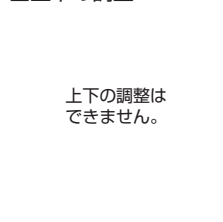
■前後の調整



■左右の調整



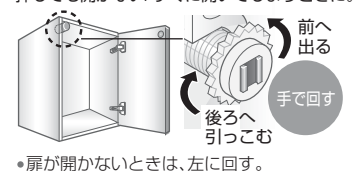
■上下の調整



扉がすぐに開くとき / ずれているとき

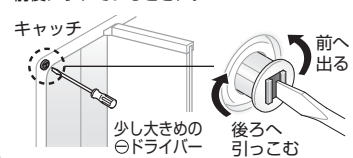
押すと開くタイプの扉

押しても開かない/すぐに開いてしまうときに。



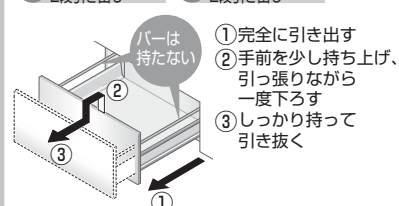
鏡扉

前後にずれているときに。

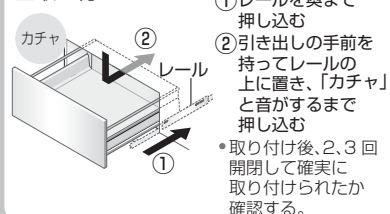


引き出しを外すとき

- 3Wayキャビネット 2段引き出し
- 3Wayキャビネット 2段引き出し

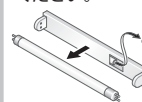


■取り付けかた



蛍光灯を交換するとき

別冊「蛍光灯の交換」をご確認ください。



定期的な点検

経年劣化による重大事故を防ぎ、より長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様ご自身で以下の点検を行ってください。

不具合があったときは TOTOメンテナンス(株)修理受付センター(TEL ☎ 0120-1010-05)かお求めの販売店へご連絡ください。

月1回は
点検を



鏡扉

- がたつき・異音
(鏡の脱落による、けがの原因)
→丁番のねじがゆるんでいるときは、締める。(P.14)

鏡

- ひび割れ
(破損部への接触による、けがの原因)

化粧鏡本体

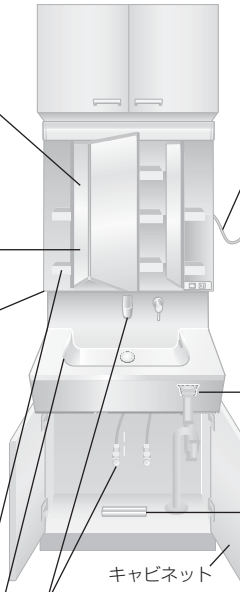
- ひび割れ
(取付部品や収納物の落下による、けがの原因)
- がたつき
(化粧鏡の落下による、けがの原因)
→取付工事店かTOTOメンテナンス(株)にご連絡ください。
(壁固定ねじがゆるんでいるおそれがあるため)

収納トレイ

- ひび割れ、爪の欠け
(収納物の落下による、けがの原因)

カウンター・洗面ボウル

- ひび割れ・欠け
(水漏れによるキャビネット内の膨れ、変形・破損部への接触によるけがの原因)



電源コード

- 傷み・挟み込み
(やけど・火災・感電の原因)
→すぐに電源コードを抜く。

電源プラグ

- ホコリの付着
(やけど・火災・感電の原因)
→乾いた布でよくふく。

排水金具

- 損傷
(異臭・水漏れ、床の腐敗の原因)
- 接続部(キャビネット内)からの水漏れ
(異臭、キャビネット内の膨れの原因)

水受けトレイ

- 水がたまっている
(異臭・水漏れの原因)
→たまっていたら、水を捨てる。
・頻繁に水がたまるときは、修理をご依頼ください。(裏表紙)

キャビネット

- 扉・引き出しのがたつき・外れ・異音
(扉・引き出しの脱落などによる、けがの原因)
→がたつきは、調整する。(P.10)

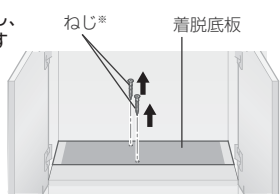
水栓金具

- 水栓本体のがたつき
(破損による水漏れ・キャビネット内の膨れの原因)
- 水栓配管接続部
(キャビネット内)からの水漏れ
(異臭、キャビネット内の膨れの原因)
・逆止弁は、定期的に交換してください。
(水栓金具の専用説明書参照)

キャビネット内に水漏れがあったとき

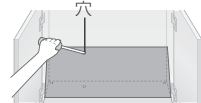
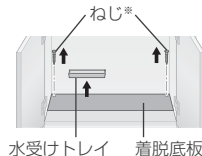
床にまで水漏れしていないか、着脱底板を外して確認してください。

ねじを外し、
底板を外す



■水受けトレイを底板に置くタイプ

- ①ねじと水受けトレイを外す
- ②穴にドライバーなどを入れ、奥側を持ち上げて底板を外す



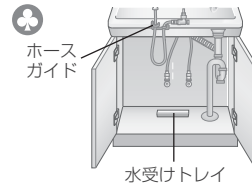
※ねじの数は、間口によって異なります。

●別冊「各部のなまえ」「仕様」をご確認ください。
お買い上げの商品のマークは、別冊の表紙をご確認ください。

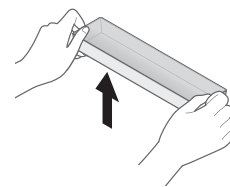


水受けトレイの水の捨てかた

底板に置くタイプ

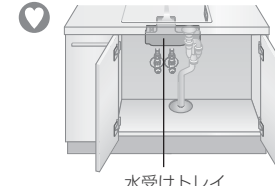


- 1 キャビネット内の物を出す
- 2 水がたまっていたら水受けトレイを外し、水を捨てる

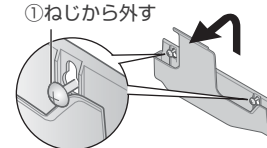


・捨てたら、水受けトレイを元に戻す。

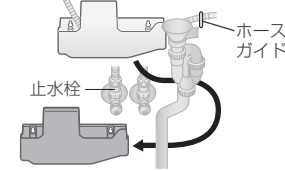
裏板にかけるタイプ



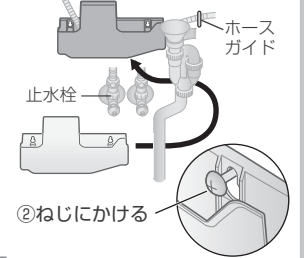
- 1 キャビネット内の物を出す
- 2 水受けトレイを外す
・あまり傾けないようにする。
(水がこぼれないように)



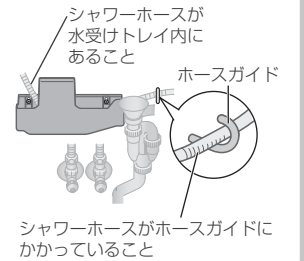
①ねじから外す
②ホースガイド・止水栓をよけて取り出す



- 3 水がたまっていたら水を捨てる
- 4 水受けトレイを元に戻す
①止水栓・ホースガイドをよけて元の位置に戻す



- 5 取り付けを確認する



凍結予防

寒冷地仕様の場合

準備：キャビネット内の物を出す。

- 1 水栓金具の水抜きをする

水栓金具の専用説明書の「凍結予防の仕方」参照

- 2 排水トラップの水抜きをする

- ①水受け容器を置く
(たまった水 約140mlを受けるため)
- ②水抜きコックを開ける
- ③水抜きコックを手で締める
・工具は使わない。

・電気温水器付きのときは、電気温水器の水抜きも行う。
(電気温水器の専用説明書を参照してください)

